

「サイエンスカフェ in 静岡」第133話（2019年3月14日）
テーマ：「潮干狩りの古生物学」
講師：佐藤 慎一（理学部 地球科学科）

■ ご記帳者数 （記帳分のみ）

68名（男性：49名 女性：19名）

■ 職業別ご記帳者数

会社員：11	公務員：5	教員：5	自営業：2
主婦：9	小学生：1	中学生：0	高校生：2
大学生：1	その他：29	不明：3	

■ 年齢別ご記帳者数

19歳以下：3	20代：1	30代：2	40代：11
50代：13	60代以上：37		不明：1

■ 住所別ご記帳者数

葵区：23	駿河区：15	清水区：15	富士市：1
焼津市：4	掛川市：1	富士宮市：1	藤枝市：2
浜松市：1	その他：6		

■ アンケート回収数 35名

■ この企画をどのようにお知りになりましたか。（複数回答有）

継続参加による周知：25	
カフェからの電子メール：0	静大のWebサイト：3
カフェのブログ：0	eしずおかのイベント情報：0
カフェのツイッター：0	ポスター：7
その他（知人、チラシ、学校）：4	

■ ご意見・ご感想（10代）

- 人形を使って説明を行ってくれたので、より鮮明に伝わり理解しやすかった。
- とても勉強になりました。古生物学についての関心が増した。

■ ご意見・ご感想（40代）

- サキグロタマツメタも人間が食べられるのでしょうか？
- 生物学・生き物・貝類の奥深い内容、記録と、すばらしい勉強になったと思う。

■ ご意見・ご感想（50代）

- とてもわかりやすく面白かった。特に貝の人形がよくわかった。東名の海沿いに老人ホームがあったので津波のときは心配になった。
- 名前の記入がダメとは世知辛くなったものですね。強制項目としてではなく任意記載項目として残してはいかがでしょうか。
- 毎回の聴講者を見ると、サイエンス系は男性中心、ミドル中心が鮮明。
- 学問一辺倒ではなく、研究が人の生活や食（特においしさ）にどう影響するのかという面白い語りの視点も必要なのでは？
- すばらしかった。これからも参加したいです。

■ ご意見・ご感想（60代）

- アサリがツメタ貝に食べられる状態がよくわかったが、ツメタ貝が繁殖しない方法を探してほしい。
- 本来もぐって攻撃し、逃げられない向きが左穴となる。では、浅いと左右差がないのに何故アサリは逃げないのか？
- 海岸で穴の開いた貝殻を拾ったことがあり、サキグロタマツメタが食べたものであることがわかりました。
- 大変勉強になった。今回初めてなのでこれを機会に月一回ということなので毎月来たい。興味深い話がいっぱい聞けそう。
- 地球上で、人・動物の生存要素が<水・塩・空気>。植物は<窒素・リン酸・カリ>。これらの無機物は火星と同じという可能性はあるのでしょうか？
- 「被食痕」貝殻の穴がいつも不思議に思っていたので本日解決しました。貝の世界がいろいろわかり楽しかったです。
- 現生の環境改変から古生物の遷移を環境変化で解釈するという手法(学問)が面白いと思いました。

- ガラスビーズで飼育する話はすごく面白く、マペットでの解説は分かり易かった。
- サキグロタマツメタの捕食行動の説明が大変面白いと思いました。
- ありがとうございます。これからも参加したいです。

■ ご意見・ご感想（70代）

- 毎年楽しみにしていた浜名湖での潮干狩りができなくなってしまい残念です。原因が「サキグロタマツメタ」であることを知った。ありがとうございます。
- 環境に外来種を持ち込むことは大変恐ろしいことだと改めて知らされた。穴の開いたアサリを礼文島で一昨年見かけましたが・・・
- 現生の人為的環境下の研究が、古環境の研究につながっているということに興味深くお聞きしました。
- サキグロタマツメタとアサリとの関係を中心に話されたが、天敵の一例の研究なのか？研究の目的がよく解からない講演であった。
- 諫早湾の干拓の影響は前から気になっていました。今日のお話で、人間の行った干拓がいかに自然を大きく変えてしまったか、想像していた以上で驚きました。人間の都合、安易な考えで自然を変えることが生物の移動や死をもたらすことを考えなければいけない。という戒めだと思いました。
- アサリの殻に開いている穴から肉食貝の行動がわかるのにはすごいと思いました。面白かったです。ありがとうございます。
- 毎回楽しみにしています。

■ ご意見・ご感想（80代）

- 人為的な海岸の操作、改造がこのような海中生物に、急激に大きく影響することの恐ろしさを知らされます。海中の問題だけでなく、人間が今行っている行為が地球全体の環境に及ぼす影響を考えると恐ろしくなります。